

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューローの 経営状況を説明する書類

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューローの経営状況を説明 する書類について

地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定により公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの
経営状況を説明する書類を提出する。

令和 7 年 9 月 3 日

福岡市長 高 島 宗一郎

目 次

	ページ
第1 令和7年度事業計画に関する書類……………	1
1 事業計画……………	1
2 収支予算書……………	5
第2 令和6年度決算に関する書類……………	7
1 事業報告……………	7
2 貸借対照表……………	13
3 正味財産増減計算書……………	14
4 財務諸表に対する注記……………	16
5 附属明細書……………	18
6 財産目録……………	19
7 収支計算書……………	20
8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約……………	21
9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約……………	21
第3 監事の意見……………	21
第4 役員及び評議員名簿……………	22

第1 令和7年度事業計画に関する書類

1 事業計画

令和7年度は、令和5年から3年間かけて取り組んだ「観光・MICE推進プログラム」の最終年にあたり、その間、「ザ・リッツカールトン福岡」の開業やインバウンドの増加など、福岡市を取り巻く環境は大きく変化している。

観光振興においては、博多旧市街や福岡城・鴻臚館などにおいて、福岡の長い歴史や豊かな伝統文化を伝える仕組みを強化し観光交流を推進するとともに、インバウンドの受入体制の構築や、宿泊事業者の人材確保等の課題に積極的に取り組んでいく。

また、MICEについては、国際会議の開催地として選ばれるため、都市の魅力向上や多様化するニーズに合わせた支援を行うことにより、グローバルMICE都市としての地位を高めていく。

※MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive tour/Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

(1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史、文化、祭り、自然などの地域資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、関係団体等と連携した受入環境の向上に取り組む。

① 地域資源を活かした観光振興

市内各所にある歴史資源や文化財、文化観光施設などの地域資源を活かした観光振興、まち歩きの企画・実施、観光情報の発信などを行う。

ア 観光コンテンツの企画・販売

イ 観光資源を活かした観光案内・まち歩きの推進強化

- ・「世界観光ガイド連盟会議」に合わせた、多言語対応ができる「おもてなしサポーター」によるまち歩きの企画・実施

ウ エリア観光の充実

- ・「ユニバーサルツーリズム（すべての人が安心して楽しめる旅行）」に対応したまち歩きの企画・実施

エ 観光情報の発信

- ・観光情報サイト「よかなび」での市内イベント情報の発信
- ・エリア特性やターゲットを踏まえた福岡市の魅力を海外向けに発信するための観光グローバルサイトの運用

② 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」、「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のための支援を行う。

③ 福岡検定の実施

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡

商工会議所との共催により、福岡検定を実施する。

④ 受入環境の向上

観光案内所（天神・博多駅）の運営など国内外からの来訪者が安全安心かつ快適に過ごせる受入環境の向上に取り組む。

(2) 観光客の誘致

関係団体・機関と連携し、国内外から観光客の誘致を促進する。

① 観光関連産業の連携強化

イベントや国際会議の時期に合わせ、地域の小売事業者や飲食店等と連携しインバウンドの受入体制づくりを行うことにより、事業者同士のネットワーク構築及びインバウンド消費の拡大を図る。

② 宿泊事業者の人材確保等支援事業

観光客の受入体制の整備に向け、宿泊事業者等の人材確保・育成に向けた支援を実施する。

③ 広域連携誘客事業

ア 国内向けプロモーション

「ツーリズムEXPOジャパン2025」への出展を行う。

イ 海外向けプロモーション

「旅行博ITF（台湾）」及び「旅行博ITF（タイ）」への出展を行う。

④ 修学旅行による都市圏周遊の推進

市内に宿泊する修学旅行のバス代支援の拡充や、体験学習プログラムへの参加費支援等に取り組むことで、都市圏を含む周遊観光を推進する。

⑤ 福岡型ワーケーション推進事業

福岡市の魅力であるビジネス環境の良さや、都市機能と自然が近接したコンパクトシティの特徴を活かした「福岡型ワーケーション」を推進し、滞在長期化・リピーター化を図る。

ア 専用サイト「W@F（ワフ）」の運営

イ 企業向けワーケーションプログラムのプロモーション

ウ ワーケーションの受入れを支援するパートナー企業交流会の実施

⑥ 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市や広域観光団体等との連携による共同誘致活動などを行う。

(3) MICEの誘致及び開催支援

国内外の誘致案件の調査・営業から、主催者のニーズに応じた開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネートまで、ワンストップで実施する。

外国人参加者が多く見込め、都市の知名度向上に資するコンベンション、経済波及効果が高い大型・ラグジュアリーなミーティング・インセンティブツアー、また、市内企業のビジネス機会の創出につながる展示会・見本市の誘致・支援を強化していく。

① MICE誘致等

ア コンベンション誘致強化

都市の知名度向上につながる大型国際会議や、市民や事業者が一体となって、MICEの機運醸成につながる国際会議の誘致に取り組む。

特に、国際会議の誘致主体となる市内大学との連携を強化する。

イ ミーティング・インセンティブツアー誘致強化

M P F主催のM I C Eセミナー参加者や、海外商談会などで構築された旅行会社等とのネットワークを通じて、新たな案件獲得に取り組む。

また、大型の案件についてはM I C E施設等の視察を支援し、確実な誘致につなげる。

ウ 展示会・見本市誘致強化

商談会への出展や、首都圏及び関西圏、中部圏への集中営業を行う。

また、主催者を対象に、福岡開催の可能性や開催に係る課題等の調査を実施し、新規開催案件を開拓する。

② M I C E開催支援

ア コンベンション開催支援

国内大型会議・大会や外国人が多く参加する国際会議に対して、費用を助成する。

イ ミーティング・インセンティブツアー開催支援

海外の企業ミーティング及びインセンティブツアーに対して、費用助成や文化体験を提供する。

ウ 見本市等開催支援

市内初開催及び施設の使用面積を拡張して開催する見本市等に対して、費用を助成する。

エ ユニークベニュー活用支援

博物館や美術館など、特別な地域特性を演出できる場所（ユニークベニュー）を活用して開催されるレセプション等に対して、費用を助成する。

オ シンボリックM I C E開催支援

世界中のプロの観光ガイドが集まる「世界観光ガイド連盟総会」を福岡の魅力をP Rする機会と捉え、開催効果拡大に向けて取り組む。

③ M I C E人材育成

将来のM I C E業界を担う人材の育成を図るため、大学生等を対象にM I C Eの基礎を学ぶセミナーやM I C E運営現場の体験等を実施する。

④ 関係機関・団体との連携

M I C E誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行う。

ア 観光庁、日本政府観光局などM I C E関係機関・団体との連携

イ 福岡地域戦略推進協議会、福岡商工会議所、九州経済連合会など地元経済団体との連携

ウ 業界のグローバルな団体等への加盟

(4) 情報発信・広報、マーケティング

戦略的な情報発信を行うとともに、観光・M I C Eに関するトピックなどを提供する。

① デジタルマーケティング推進

ア 観光関連事業者のデジタル対応支援

Google検索やGoogleマップで利用者の言語に合わせて店舗が表示される「Googleビジネスプロフィール」の活用や集客に向けた情報発信を支援する。

イ 観光データの収集・分析・活用

来訪者の周遊行動を把握するために、携帯電話の位置情報データの活用や国内外の観光

客へのアンケート調査、クレジットカードの決済情報による消費傾向分析を行い、観光関連事業者へ情報共有を行う。

② 海外への情報発信

ア SNSを活用した海外への情報発信

イ メディアへの情報提供、取材支援

③ 広報活動

ア 財団ホームページによる情報発信

イ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行

(5) 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、新たな会員獲得に向けた取組みを行う。

① ステークホルダーの理解促進

観光関連事業者や市民などを対象に、観光・MICEの意義や重要性、地域の課題等についての理解促進に向けた場を開催する。

② 賛助会員交流会の開催

賛助会員間の交流促進のため、PRブースの設置等を行う。

③ 賛助会員サービスの提供

ア コンベンションスケジュールの作成、提供

イ メールマガジンの配信

ウ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信

2 収支予算書 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(1) 収支予算書

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,913	7,473	440
受取会費	40,000	43,265	△ 3,265
事業収益	10,694	10,469	225
受取負担金	636,723	565,920	70,803
受託事業収益	500	500	0
雑収益	153	153	0
経常収益計	695,983	627,780	68,203
(2) 経常費用			
事業費	698,323	627,709	70,614
管理費	2,117	2,001	116
経常費用計	700,440	629,710	70,730
当期経常増減額	△ 4,457	△ 1,930	△ 2,527
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,457	△ 1,930	△ 2,527
一般正味財産期首残高	35,968	32,302	3,666
一般正味財産期末残高	31,511	30,372	1,139
II 指定正味財産増減の部			
投資有価証券受取利息	7,913	7,473	440
一般正味財産への振替額	△ 8,721	△ 8,281	△ 440
当期指定正味財産増減額	△ 808	△ 808	0
指定正味財産期首残高	797,052	797,860	△ 808
指定正味財産期末残高	796,244	797,052	△ 808
III 正味財産期末残高	827,755	827,424	331

(2) 収支予算書内訳書

(単位：千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引等 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	3,957	3,956	0	0	7,913
受取会費	36,000	0	4,000	0	40,000
事業収益	9,694	1,000	0	0	10,694
受取負担金	625,937	5,956	4,830	0	636,723
受託事業収益	500	0	0	0	500
雑収益	0	0	153	0	153
経常収益計	676,088	10,912	8,983	0	695,983
(2) 経 常 費 用					
事業費	689,817	8,506	0	0	698,323
管理費	0	0	2,117	0	2,117
経常費用計	689,817	8,506	2,117	0	700,440
当期経常増減額	△ 13,729	2,406	6,866	0	△ 4,457
2 経常外増減の部					
(1) 経 常 外 収 益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	980	△ 980	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 12,749	1,426	6,866	0	△ 4,457
一般正味財産期首残高					35,968
一般正味財産期末残高					31,511
II 指定正味財産増減の部					
投資有価証券受取利息	3,957	3,956	0	0	7,913
一般正味財産への振替額	△ 4,765	△ 3,956	0	0	△ 8,721
当期指定正味財産増減額	△ 808	0	0	0	△ 808
指定正味財産期首残高					797,052
指定正味財産期末残高					796,244
III 正味財産期末残高					827,755

第2 令和6年度決算に関する書類

1 事業報告

令和6年度は地域DMOとしての活動初年度であり、持続可能な観光・MICEの実現に向け、地域の人々の理解を深めるためのフォーラム開催や参画の場づくり、また地域のさらなる活性化に向け、事業者の連携促進やデジタルマーケティングの推進など、当財団を旗振り役とする観光地域づくりへの取組みを進めた。

観光振興においては、福岡の豊かな文化、歴史などの地域資源の活用を図るとともに、「まち歩き」の担い手づくりに取り組んだ。

また、人手不足、生産性の向上など観光課題へ対応するとともに、福岡型ワーケーションや修学旅行による周遊観光を推進することで、域内での回遊や消費の促進を図った。

また、MICEについては、MICE開催地として選ばれるため、都市の魅力向上や多様化するMICEニーズに合わせた支援、欧米市場の獲得を視野に入れたセールスを行った。

(1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史、文化、祭り、自然などの地域資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来訪者のニーズを把握しながら、関係団体等と連携した受入環境の向上に取り組んだ。

① 地域資源を活かした観光振興

ア 観光コンテンツの企画・販売

- ・福岡城での観光コンテンツの販売（御城印・古地図）
- ・「聖福寺」仙厓さんにふれる特別ガイドツアー
- ・大相撲九州場所に合わせた欧米豪向け観光コンテンツの企画・販売

イ 福岡市観光案内ボランティアの運営

- ・「定時ツアー」、まち歩きコースの企画・実施、及びガイド派遣依頼への対応

ウ 観光ボランティアガイドの体制強化

- ・おもてなしサポーターの新設〔登録数：117名〕

エ 観光情報の発信

- ・観光情報サイト「よかなび」及び海外向けの観光情報サイト（観光グローバルサイト）の運用

② 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」、「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のための支援を行った。

③ 福岡検定の実施

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡検定を実施した。

④ 受入環境の向上

国内外からの来訪者の増加に対応し、来訪者が安全安心かつ快適に過ごすことができるよう、受入環境の向上に取り組んだ。

ア 観光案内所の管理・運営

イ クルーズへの対応

外国ラグジュアリー船などの受入時の観光案内、寄港地としての観光モデルコースの作成

ウ 観光サービス業従事者向け研修の企画・運営

エ 観光ガイドブック等の配布

(2) 観光客の誘致

観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、国内外からの観光客の誘致を促進した。

① 観光関連産業の連携強化

持続可能な観光を推進するため、観光関連事業者や賛助会員等のステークホルダーと連携し、新たなビジネス機会の創出や業界の魅力向上等、観光産業の活性化に取り組んだ。

ア 観光関連事業者や賛助会員等をつなぐマッチングイベント等の実施

・販路開拓や観光コンテンツ造成に向けたビジネスマッチング

・観光関連事業者等をつなぐマッチング交流会

イ 宿泊事業者の人材確保のための就職合同説明会や研修等の実施

・次世代リーダー育成のための研修・交流プログラム

・宿泊業界合同就職説明会

・宿泊業経営者等へのセミナーの開催

・大学での就職説明会等の開催

② 広域連携誘客事業

ア 国内向けプロモーション

福岡・大分デスティネーションキャンペーン（ＪＲグループが自治体と共同で開催する大型観光キャンペーン）期間に合わせて、博多の伝統文化を紹介する体験コンテンツの販売及び、「ツーリズムＥＸＰＯジャパン２０２４」への出展

イ 海外向けプロモーション

「旅行博ＩＴＦ（台湾）」及び「旅行博ＴＩＴＦ（タイ）」への出展

③ 修学旅行による都市圏周遊の推進

都市圏を含む周遊観光を推進し、市内に宿泊する修学旅行への支援を行った。

ア 修学旅行に係る交通費（貸切バス）の支援

イ 修学旅行・校外学習における「体験学習プログラム」への参加費支援

ウ 修学旅行専用サイト等による情報発信

エ モニターツアーの実施

④ 福岡型ワーケーション推進事業

ワーケーションに興味・関心を持つ企業をターゲットとした新たなプログラムの開発や、

長期滞在を支援する特典の提供、受入環境の向上に取り組んだ。

ア 企業向けワーケーションプログラムの開発

イ ワーケーション利用者向け特典の提供

ウ ワーケーションの受入れを支援するパートナー企業交流会の実施

エ 国際的なリモートワーカー（デジタルノマド）滞在支援コーディネーターの配置

オ 国際的なリモートワーカー（デジタルノマド）向けサービス（クーポン）利用促進と
ニーズ調査

⑤ 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市や広域観光団体等と今後の施策について情報交換を行った。

(3) M I C E の誘致及び開催支援

国内外の誘致案件の調査・営業から、主催者のニーズに応じた開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネートまで、ワンストップで実施した。

都市の知名度向上につながるコンベンション、開催地が重要である企業主催のミーティングやインセンティブツアー、ビジネス機会の創出につながる展示会・見本市の誘致活動を展開したほか、ユニークベニューの開発、活用に取り組んだ。

① M I C E 誘致等

ア コンベンションの誘致

国際 L G B T Q + 旅行協会（I G L T A）世界総会 2024 大阪大会と連携した M I C E（サテライトイベント）を開催し、併せて F A M トリップを実施した。

また、半導体分野の国際会議「S W T e s t A s i a 2025」の誘致に成功した。

イ ミーティング・インセンティブツアーの誘致

M P F 主催事業などに参加した M I C E 主催者へのフォローアップや、欧米系の企業や学協会事務局の支社・支局を多数有するシンガポール市場開拓に向けて、現地での M I C E セミナー及びダイレクトセールスを実施した。

ウ 展示会・見本市の誘致

展示会・見本市主催者が参加する主要な商談会への参加や、地元業界団体・企業等とのビジネスマッチングを行うなど、新規分野の展示会・見本市の誘致に取り組んだ。

② M I C E 開催支援

ア コンベンション開催支援

国内大型会議・大会や外国人が多く参加する国際会議開催に対して費用の助成を行った。

イ ミーティング・インセンティブツアー開催支援

市内宿泊を伴うミーティング、インセンティブツアーに対して、費用の助成を行ったほか、来福時の物的支援、伝統芸能等の提供を実施した。

ウ 見本市等開催支援

市内初開催及び施設の使用面積を拡張して開催する見本市等に対して、費用の助成を行った。

エ ユニークベニユーの活用促進

ユニークベニユーの活用を促進し、博多川に川床を設置する大型会場の開拓や、住吉神社能楽殿でのレセプション、警固神社境内でのイベントが実施された。

③ M I C E 人材育成事業

M I C E の認知度向上と次世代人材の育成を図るため、大学生等を対象に、M I C E に関する講座や施設の視察、コンベンションや展示会等の運営体験など20プログラムを実施した。

④ 関係機関・団体との連携

M I C E 関係機関・団体等との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、M I C E 誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行った。

ア 観光庁・日本政府観光局などM I C E 関係機関・団体との連携

イ 福岡地域戦略推進協議会、福岡商工会議所、九州経済連合会など地元経済団体との連携

ウ 業界のグローバルな団体等への加盟

(4) 情報発信・広報、マーケティング

観光・M I C E に関するトピックや統計情報の提供など戦略的な情報発信を行った。

① デジタルマーケティング推進

ア 「Google ビジネスプロフィール」の導入等支援

イ 観光データの収集、旅行客へのアンケート調査

ウ 入国者の推移、国別の傾向など観光データをまとめたレポートの発信

エ 観光データを基にした観光客の動向などの講演・セミナー

② 海外への情報発信

ア S N S を活用した国内・国外（英語）への情報発信

イ 海外メディアへの情報提供、取材支援

③ 広報活動

ア 財団ホームページによる情報発信

イ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行

(5) 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、賛助会員の確保を図った。

① ステークホルダーの理解促進

ア 市民を対象にした観光地域づくりフォーラム

イ 賛助会員と共に地域課題等について議論・検討

② 賛助会員交流会の開催

③ 賛助会員サービスの提供

ア コンベンションスケジュールの作成、提供

イ メールマガジンの配信

ウ 財団のホームページ、機関誌による会員 P R ・情報発信

(6) 会議

① 理事会の開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
令和6年度 第1回理事会	令和6年4月1日 ※決議の省略	専務理事の選定
令和6年度 第2回理事会	令和6年5月1日 ※決議の省略	理事の推薦 評議員会の開催
令和6年度 第3回理事会	令和6年6月5日	令和5年度事業報告及び決算報告 理事の推薦 評議員の推薦 評議員会の開催 事業報告等に係る定期提出書類
令和6年度 第4回理事会	令和7年3月28日	令和7年度事業計画案及び収支予算案 特定費用準備資金取扱規程の制定 役員の推薦 評議員会の開催

② 評議員会の開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
令和6年度 第1回評議員会	令和6年4月1日 ※決議の省略	理事および監事の選任
令和6年度 第2回評議員会	令和6年6月27日	令和5年度事業報告及び決算報告 理事の選任 評議員の選任

※ 上記①及び②の表中の「決議の省略」とは、いわゆる書面決議のことであり、定期の役員選定などについて実施しているものである。事業計画や予算・決算など重要事項については、会議開催により決議している。

2 貸借対照表 (令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	251,195,460	171,607,645	79,587,815
定期預金	6,036	0	6,036
未収金	9,837,252	6,277,155	3,560,097
前払金	123,000	188,000	△ 65,000
商貯品	1,634,460	1,583,819	50,641
立替品	395,210	219,840	175,370
流動資産合計	15,880	0	15,880
2 固 定 資 産	263,207,298	179,876,459	83,330,839
(1) 基 本 財 産			
定期預金	29,618,602	29,618,602	0
普通預金	738,112	736,742	1,370
投資有価証券	765,643,286	765,644,656	△ 1,370
基本財産合計	796,000,000	796,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	7,343,610	7,033,160	310,450
ソフトウェア	1,051,875	1,860,375	△ 808,500
観光・MICE振興事業準備資金	11,400,000	0	11,400,000
人件費等準備資金	5,000,000	0	5,000,000
特定資産合計	24,795,485	8,893,535	15,901,950
(3) その他固定資産			
建物附属設備	339,214	442,593	△ 103,379
什器備品	1,212,583	1,814,533	△ 601,950
ソフトウェア	0	324,282	△ 324,282
電話加入権	907,603	907,603	0
預託金	3,000,000	3,000,000	0
その他固定資産合計	5,459,400	6,489,011	△ 1,029,611
固定資産合計	826,254,885	811,382,546	14,872,339
資産合計	1,089,462,183	991,259,005	98,203,178
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	224,702,764	142,757,993	81,944,771
前受金	0	527,000	△ 527,000
預り金	2,314,003	2,503,507	△ 189,504
賞与引当金	9,557,792	2,678,195	6,879,597
流動負債合計	236,574,559	148,466,695	88,107,864
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	7,343,610	7,033,160	310,450
固定負債合計	7,343,610	7,033,160	310,450
負債合計	243,918,169	155,499,855	88,418,314
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
負担金	1,051,875	1,860,375	△ 808,500
福岡市寄付金	755,000,000	755,000,000	0
福岡県寄付金	2,000,000	2,000,000	0
民間寄付金	39,000,000	39,000,000	0
指定正味財産合計	797,051,875	797,860,375	△ 808,500
(うち基本財産への充当額)	(796,000,000)	(796,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,051,875)	(1,860,375)	(△ 808,500)
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	48,492,139	37,898,775	10,593,364
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正 味 財 産 合 計	845,544,014	835,759,150	9,784,864
負債及び正味財産合計	1,089,462,183	991,259,005	98,203,178

3 正味財産増減計算書（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

(1) 正味財産増減計算書

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	7,473,880	7,471,759	2,121
② 受取会費			
受取賛助会員会費	38,165,000	37,255,000	910,000
③ 事業収益			
広告料収益	5,759,067	5,685,922	73,145
事業収益	35,134,735	891,500	34,243,235
販売収益	6,562,327	5,012,200	1,550,127
④ 受取負担金			
市人件費負担金	61,884,431	63,037,721	△ 1,153,290
市事業費負担金	435,652,592	317,131,441	118,521,151
市事業費負担金振替額	808,500	808,500	0
参加者負担等負担金	4,084,900	2,270,200	1,814,700
事業協力負担金	1,100,000	5,194,200	△ 4,094,200
⑤ 受託事業収益			
受託事業収益	500,000	500,000	0
⑥ 雑収益			
受取利息	44,828	521	44,307
雑収益	2,800,474	286,510	2,513,964
経常収益計	599,970,734	445,545,474	154,425,260
(2) 経常費用			
① 事業費	588,153,050	440,648,294	147,504,756
② 管理費	1,224,320	1,120,875	103,445
経常費用計	589,377,370	441,769,169	147,608,201
当期経常増減額	10,593,364	3,776,305	6,817,059
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,593,364	3,776,305	6,817,059
一般正味財産期首残高	37,898,775	34,122,470	3,776,305
一般正味財産期末残高	48,492,139	37,898,775	10,593,364
II 指定正味財産増減の部			
受取負担金	0	0	0
市事業費負担金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 808,500	△ 808,500	0
一般正味財産への振替額	△ 808,500	△ 808,500	0
当期指定正味財産増減額	△ 808,500	△ 808,500	0
指定正味財産期首残高	797,860,375	798,668,875	△ 808,500
指定正味財産期末残高	797,051,875	797,860,375	△ 808,500
III 正味財産期末残高	845,544,014	835,759,150	9,784,864

(2) 正味財産増減計算書内訳表

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	3,736,940	3,736,940	0	0	7,473,880
基本財産受取利息	3,736,940	3,736,940	0	0	7,473,880
② 受取会費	34,348,500	0	3,816,500	0	38,165,000
受取賛助会員会費	34,348,500	0	3,816,500	0	38,165,000
③ 事業収益	47,456,129	0	0	0	47,456,129
広告料収益	5,759,067	0	0	0	5,759,067
事業収益	35,134,735	0	0	0	35,134,735
販売収益	6,562,327	0	0	0	6,562,327
④ 受取負担金	502,319,144	1,128,845	82,434	0	503,530,423
市人件費負担金	61,183,152	618,845	82,434	0	61,884,431
市事業費負担金	435,652,592	0	0	0	435,652,592
市事業費負担金振替額	808,500	0	0	0	808,500
参加者負担等負担金	3,574,900	510,000	0	0	4,084,900
事業協力負担金	1,100,000	0	0	0	1,100,000
⑤ 受託事業収益	500,000	0	0	0	500,000
受託事業収益	500,000	0	0	0	500,000
⑥ 雑収益	2,800,474	0	44,828	0	2,845,302
受取利息	0	0	44,828	0	44,828
雑収益	2,800,474	0	0	0	2,800,474
経常収益計	591,161,187	4,865,785	3,943,762	0	599,970,734
(2) 経常費用					
① 事業費	583,855,327	4,297,723	0	0	588,153,050
② 管理費	0	0	1,224,320	0	1,224,320
経常費用計	583,855,327	4,297,723	1,224,320	0	589,377,370
当期経常増減額	7,305,860	568,062	2,719,442	0	10,593,364
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,305,860	568,062	2,719,442	0	10,593,364
一般正味財産期首残高	19,066,786	△19,014,370	37,846,359	0	37,898,775
一般正味財産期末残高	26,372,646	△18,446,308	40,565,801	0	48,492,139
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
一般正味財産への振替額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
当期指定正味財産増減額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
指定正味財産期首残高	399,860,375	0	398,000,000	－	797,860,375
指定正味財産期末残高	399,051,875	0	398,000,000	－	797,051,875
III 正味財産期末残高	425,424,521	△18,446,308	438,565,801	－	845,544,014

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

③ 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

④ 引当金の計上基準

ア 退職給付引当金については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

イ 賞与引当金については支給見込額の当期負担分を計上している。

⑤ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産				
定 期 預 金	29,618,602	0	0	29,618,602
普 通 預 金	736,742	1,370	0	738,112
投 資 有 価 証 券	765,644,656	0	1,370	765,643,286
小 計	796,000,000	1,370	1,370	796,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	7,033,160	310,450	0	7,343,610
ソ フ ト ウ ェ ア	1,860,375	0	808,500	1,051,875
観光・MICE振興事業準備資金	0	11,400,000	0	11,400,000
人 件 費 等 準 備 資 金	0	5,000,000	0	5,000,000
小 計	8,893,535	16,710,450	808,500	24,795,485
合 計	804,893,535	16,711,820	809,870	820,795,485

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定 期 預 金	29,618,602	(29,618,602)	(0)	(—)
普 通 預 金	738,112	(738,112)	(0)	(—)
投 資 有 価 証 券	765,643,286	(765,643,286)	(0)	(—)
小 計	796,000,000	(796,000,000)	(0)	(—)
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	7,343,610	(0)	(0)	(7,343,610)
ソ フ ト ウ ェ ア	1,051,875	(1,051,875)	(0)	(—)
観光・MICE振興事業準備資金	11,400,000	(0)	(11,400,000)	(—)
人 件 費 等 準 備 資 金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(—)
小 計	24,795,485	(1,051,875)	(16,400,000)	(7,343,610)
合 計	820,795,485	(797,051,875)	(0)	(7,343,610)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建 物 附 属 設 備	1,033,796	694,582	339,214
什 器 備 品	5,118,711	3,906,128	1,212,583
ソ フ ト ウ ェ ア (特 定)	4,042,500	2,990,625	1,051,875
ソ フ ト ウ ェ ア (そ の 他 固 定)	1,768,800	1,768,800	0
電 話 加 入 権	907,603	0	907,603
合 計	12,871,410	9,360,135	3,511,275

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
兵庫県平成23年度第1回15年公債	199,994,666	202,100,000	2,105,334
兵庫県平成25年度第3回12年公債	100,000,000	100,000,000	0
第137回福岡北九州高速道路公社債	100,000,000	95,150,000	△ 4,850,000
第151回利付国債	75,759,500	73,665,350	△ 2,094,150
第158回利付国債	139,889,120	123,326,000	△ 16,563,120
第154回福岡北九州高速道路公社債	150,000,000	120,465,000	△ 29,535,000
合 計	765,643,286	714,706,350	△ 50,936,936

(6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取負担金						
受 取 負 担 金	福岡市	1,860,375	497,632,993	498,441,493	1,051,875	指定正味財産
合 計		1,860,375	497,632,993	498,441,493	1,051,875	

(7) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	7,473,880
減価償却費計上による振替額	808,500
合 計	8,282,380

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期帳簿価額
基本財産	定 期 預 金	29,618,602	0	0	29,618,602
	普 通 預 金	736,742	1,370	0	738,112
	投 資 有 価 証 券	765,644,656	0	1,370	765,643,286
	基 本 財 産 計	796,000,000	1,370	1,370	796,000,000
特定資産	退職給付引当資産	7,033,160	310,450	0	7,343,610
	ソ フ ト ウ ェ ア	1,860,375	0	808,500	1,051,875
	観光・MICE 振興事業準備資金	0	11,400,000	0	11,400,000
	人件費等準備資金	0	5,000,000	0	5,000,000
	特 定 資 産 計	8,893,535	16,710,450	808,500	24,795,485

(2) 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,033,160	310,450	0	0	7,343,610
賞 与 引 当 金	2,678,195	9,557,792	2,678,195	0	9,557,792

6 財 産 目 録（令和7年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
（流動資産）				
	現金預金	普通預金 西日本シティ銀行天神支店 福岡銀行福岡市庁内支店 ゆうちょ銀行 福岡中央銀行本店営業部 定期預金 西日本シティ銀行天神支店	運転資金 運転資金 運転資金 運転資金 退職金の財源	158,147,728 83,518,461 8,795,885 733,386 6,036
	未収金	広告料等	公益目的事業、管理業務	9,837,252
	商品	コンベンションバッグ・御城印・古地図	公益目的事業	1,634,460
	貯蔵品	切手・収入印紙	管理業務	395,210
	前払金	ボランティア活動保険	公益目的事業	123,000
	立替金	日本観光ショーケース出展料	公益目的事業	15,880
流 動 資 産		合 計		263,207,298
（固定資産）				
基本財産	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	6,420,178
		福岡銀行福岡市庁内支店	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	13,198,424
		福岡中央銀行本店営業部	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	10,000,000
	普通預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	738,112
	投資有価証券	兵庫県平成23年度第1回15年公債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	199,994,666
		兵庫県平成25年度第3回12年公債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	100,000,000
		第137回福岡北九州高速道路公社債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	100,000,000
		第151回利付国債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	75,759,500
		第158回利付国債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	139,889,120
		第154回福岡北九州高速道路公社債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	150,000,000
特定資産	退職給付引当資産	西日本シティ銀行天神支店	退職金の財源	7,343,610
	ソフトウェア	MICEアプリケーション等	公益目的事業	1,051,875
	観光・MICE振興事業準備資金	西日本シティ銀行天神支店	将来の観光・MICE振興事業（新規・拡充）の準備資金	11,400,000
	人件費等準備資金	西日本シティ銀行天神支店	将来の人件費・賃借料の増加に充てるための準備資金	5,000,000
その他 固定資産	建物附属設備	L A N配線移設工事	共用財産（事務所内工事代）	339,214
	什器備品	スライド式収納庫等	共用財産（事務所内備品）	1,212,583
	ソフトウェア	賛助会員管理システム等	共用財産（事務所内備品）	0
	電話加入権	電話加入権 回線	共用財産（事務所用）	907,603
	預託金	福岡法務局・第3種旅行業営業保証金	収益事業	3,000,000
固 定 資 産		合 計		826,254,885
資 産 合 計		合 計		1,089,462,183
（流動負債）				
	未払金	観光案内所他完了払い金等	公益目的事業、管理業務	224,702,764
	預り金	社会保険料、雇用保険、源泉所得税	役職員、臨時職員他	2,314,003
	賞与引当金	職員	職員 21 名	9,557,792
流 動 負 債		合 計		236,574,559
（固定負債）				
	退職給付引当金	職員	職員 2 名	7,343,610
固 定 負 債		合 計		7,343,610
負 債 合 計		合 計		243,918,169
正 味 財 産		合 計		845,544,014

7 収 支 計 算 書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,473,000	7,473,000	7,473,880	△ 880
受取会費	43,265,000	43,265,000	38,165,000	5,100,000
事業収益	10,469,000	10,469,000	47,456,129	△36,987,129
受取負担金	565,920,000	565,920,000	503,530,423	62,389,577
受託事業収益	500,000	500,000	500,000	0
雑収益	153,000	153,000	2,845,302	△ 2,692,302
経常収益計	627,780,000	627,780,000	599,970,734	27,809,266
(2) 経常費用				
事業費	627,709,000	627,709,000	588,153,050	39,555,950
管理費	2,001,000	2,001,000	1,224,320	776,680
経常費用計	629,710,000	629,710,000	589,377,370	40,332,630
当期経常増減額	△ 1,930,000	△ 1,930,000	10,593,364	△12,523,364
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,930,000	△ 1,930,000	10,593,364	△12,523,364
一般正味財産期首残高	32,302,000	32,302,000	37,898,775	△ 5,596,775
一般正味財産期末残高	30,372,000	30,372,000	48,492,139	△18,120,139
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受取利息	7,473,000	7,473,000	7,473,880	△ 880
一般正味財産への振替額	△ 8,281,000	△ 8,281,000	△ 8,282,380	1,380
当期指定正味財産増減額	△ 808,000	△ 808,000	△ 808,500	500
指定正味財産期首残高	797,860,000	797,860,000	797,860,375	△ 375
指定正味財産期末残高	797,052,000	797,052,000	797,051,875	125
III 正味財産期末残高	827,424,000	827,424,000	845,544,014	△18,120,014

(注) 管理費に計上していた人件費、その他経費のうち、事業の目的のために要する費用については、事業費に計上している。

8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3 監事の意見

1 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められない。

2 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。

第4 役員及び評議員名簿（令和7年8月1日現在）

役 職 名	氏 名	備 考
会 長	谷 川 浩 道	福岡商工会議所会頭
理 事 長	松 本 義 人	西日本鉄道株式会社代表取締役副社長執行役員
専 務 理 事	竹 中 良 孝	(常勤)
理 事	安 川 仁	株式会社九電工上席執行役員
理 事	豊 福 辰 也	福岡市ホテル旅館協会会長
理 事	御手洗 淳	西部ガスホールディングス株式会社取締役常務執行役員
理 事	篠 崎 和 敏	一般社団法人日本旅行業協会九州支部支部長
理 事	吉 田 宏 幸	福岡市経済観光文化局長
理 事	石 橋 正 信	一般財団法人福岡コンベンションセンター理事長
監 事	下 田 康 介	株式会社西日本シティ銀行地域振興本部副本部長
監 事	大 島 輝 久	株式会社福岡銀行地域共創部長
評 議 員	落 石 俊 則	福岡市議会経済振興委員会委員長
評 議 員	松 本 恭 子	福岡商工会議所専務理事
評 議 員	千 相 哲	九州産業大学副学長、地域共創学部教授（観光学）
評 議 員	江 口 洋 之	九州電力株式会社執行役員福岡支店長
評 議 員	中 村 英 一	福岡市副市長
評 議 員	山 根 久 資	九州旅客鉄道株式会社常務執行役員総務部長人事部担当
評 議 員	里 浦 徹	一般社団法人九州観光機構事業本部長